



暖かな陽の光とともに、小さな虫や草花を見かける季節となりました。

小学校へ進学することに期待をし、お兄さんお姉さんになる喜びを感じながら過ごしています。



3月になり、子どもたちは少しずつ卒園することを実感している様子でした。「小学校行くん楽しみやけどもうみんなに会えなくなるんやなあ」「小学生になったら

みんなの家に遊びに行くからな！」など、友だちとの別れを寂しがる子もいました。残りの園生活を友だちや保育教諭と十分に関わって過ごせるように、出来るだけ園庭や保育室での自由遊びをして過ごすようにしました。自由遊びでは、それぞれ違う考えを持った子どもたち同士が関わります。そうすることで遊びが発展していき、継続性のある遊びが見られ、より遊びの内容が深くなっていきます。保育教諭に頼りっきりになるのではなく、子どもたちが主体となり、自分たちで考えながら自立して遊んでいる姿を見て、本当にこの1年での成長を感じました。こども園生活を通し、遊びからたくさんことを学び、成長することが出来たと思います。

そして3月からは卒園式練習が始まりました。卒園式の意味や、卒園証書を

もらう大切さをしっかりと伝えてから練習を行いました。卒園式の大切さを理解した子どもたちは、自分たちで真剣な雰囲気を作っていました。椅子に正しい姿勢で長時間座ったり、証書もらう細かな手順を覚えたりと、大変なこともありましたが、とても立派に行うことが出来ました。残念ながら卒園式を直接見て頂くことは出来ませんでした。子どもたちのキラキラしたカッコいい姿をDVDで観て頂ければと思います。

きりん組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。みんなと過ごしたこの1年間、色々な経験をしてたくさん成長したみんなの姿を側で見守ることが出来て幸せでした。今年度はコロナウイルスの影響があり、行事にも制限があった1年でした。そのような状況の中でも一つ一つの行事に真剣に取り組んだり、笑顔に満ち溢れ楽しんで参加したりする姿を今でも思い出せます。小学校へ行っても、こども園で経験したことを活かして素敵なお兄さんお姉さんになってくれることを楽しみにしています。最後になりましたが、保護者の皆様には今日まで本当に温かく見守って頂きました。至らぬ点やご迷惑をおかけしたことなど多々あったかとは思いますが、子どもたちがこうして無事卒園を迎えることが出来たのは、ひとえに保護者の皆様のご協力があったこそだと感じております。本当にありがとうございました。これから忙しくなるとは思いますが、またこども園にも遊びに来てください。元気なみんなに会えるのを楽しみにしています。 きりん組担任 澤江 成樹